

<佐賀県作業療法士会理事会 会議録>

日時：平成 23 年 5 月 15 日（日）12：30～13：30

場所：生涯学習センター アバンセ にて

出席：倉富会長、山口副会長、竹下、江渡、井手、金子、川辺、原、上城、佐藤、村岡、堀、米田、鶴田、本山、熊谷

1、会長報告および審議事項

1) 報告事項

①都道府県作業療法士会連絡協議会（6月埼玉学会時）

- ・東日本大震災への対応などについて

②九州地区作業療法士会長会議

- ・災害対策マニュアル作成の検討（九州地区で作成）
- ・作業療法の啓発について（各県士会の広報担当などから専門チームを作る）
- ・平成 24 年度介護報酬・診療報酬の改定について（ニーズの掘り起こしを行う）

※①、②については以上のことが検討される予定。

③精神障害者スポーツ大会

- ・6月に佐賀県勤労者体育館でフットサルを開催予定。
- ・9月9日（金）にバレーボール大会の開催予定。

2、各部局からの報告および審議事項

1) 学術局（江渡学術局長より報告）

- ・教育部に関して、各地区に部員を配属させていく。各地区担当から推薦を。教育部長と各地区担当理事で話をすすめていく。
- ・協賛研修について、佐賀認知神経リハビリテーションの協賛金など検討していく。
- ・喀痰、吸引研修会について、平成 23 年度、2 回実施していく方向。

2) 学術部（井手学術部長より報告）

- ・第 44 回学術研修会を 7 月 10 日（日）武雄にて、身障領域の内容で実施決定。講師は NTT 東日本伊豆病院の谷川正浩 OTR。担当窓口は杵藤地区の松尾 OTR（白石共立病院）。
- ・第 45 回学術研修会は 3 月に鳥栖三神地区にて、接遇、コーチングの内容で実施予定。担当窓口は鳥栖三神地区の松雪 OTR（やよいがおか鹿毛病院）。
- ・学術研修会の会費について、県士会に所属していない人は一律 1 万円とする ⇒ 承認

3) 教育部（金子教育部長より報告）

- ・選択研修は 9 月（アバンセ）、10 月（場所未定）で開催予定。
- ・球通研修は 5 月 14 日実施。11 月（アバンセ）にて開催予定。

4) 事務局（川辺事務局長より報告）

- ・会費納入の手段については、コンビニや郵便局自動引き落とし、研修会時などニーズは多様である。今後検討。

・所属および協力部局アンケート結果（別紙資料にて）

5) 広報部（上城広報部長より報告）

- ・HPの求人情報が少ない。求人情報は無料にて掲載できるので広報していく。
- ・今年度は事業部と連携し、啓発活動なども広報していく。

6) 財務部（原財務部長より報告）

- ・平成23年度の予算案について各部局（学術局、事業局、事務局）にて優先度が高い事業から行う。各局長が一部管理を担う形で運営していく。 ⇒ 承認

7) 庶務部（熊谷より報告）

- ・会員証に関しては、新入会員含め随時作成、発送していく。
- ・県士会の封筒を作成（サイズA4）。必要時は庶務部まで連絡を。

8) 事業部（佐藤事業部長より報告）

- ・佐賀県内小・中学生および高校生の作業療法体験に関して、夏休み頃より実施。県内施設へ受け入れを確認していく。
- ・作業療法の日に関する事業に関して、今年度はショッピングモールにてブースなどを開設し、体験コーナーやパンフレット配布、展示などを行っていく。

9) 保険部（堀保険部長より報告）

- ・平成24年度介護報酬・診療報酬の改定に伴うアンケート調査を今後検討していく。

10) 福利部（村岡福利部長より報告）

- ・5月14日（県学会の前日）佐賀市にて懇親会を開催。参加者は72名。締め切りの時点では30名ほどと少ない状況であった。多くの会員に参加していただきたい。

11) 東西松浦地区（本山地区担当理事より報告）

- ・東西松浦地区に関して、会員の増加に伴い、管理などをより明確に行うため、多久地区と伊万里地区について、地区担当の副リーダーを配置する予定。